

■市の借金と貯金（一般会計）



市が借金するのはどうして？

学校、道路、消防車など、長期にわたって利用するものの費用を現在の世代だけが負担（納税）することは公平ではありません。市の借金には、将来の世代にも返済費用を負担していただくことで世代間の公平性を実現するという役割があります。

◆財政健全化指標

区分	三木市	国の定める基準	
		早期健全化	財政再生
実質赤字比率	該当なし	12.55%	20.00%
連結実質赤字比率	該当なし	17.55%	30.00%
実質公債費比率 ※1	3.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率 ※2	41.5%	350.0%	-

※1 年間の収入額のうちどのくらいを借金の返済にまわしているかを表す指標

※2 将来市が負担することとなる借金などの総額が年間の収入額の何%に当たるかを表す指標

「財政健全化指標」は国の定める基準をすべて下回っています。

■市の財政状況

財政が健全な状態かどうかの目安となる

■今後の見通し

平成30年度決算見込は健全な状態を維持しています。

しかしながら、今後は人口減少にともない市税などの収入は減っていく見込みです。その一方で、高齢化の進展による社会保障費の増加や昭和40～50年代の人口増加期に集中的に整備した公共施設の維持補修費の増加など、支出は膨らんでいくことが見込まれます。

そのため、国の施策や人口構造の変化など今後の社会情勢を見据えながら、事業の見直しや公共施設の適正な配置・統廃合の検討を進めるなど、支出の抑制に努めることで引き続き健全な財政運営を行っていきます。



平成30年度
決算見込の概要

問(市)財政課 財政係

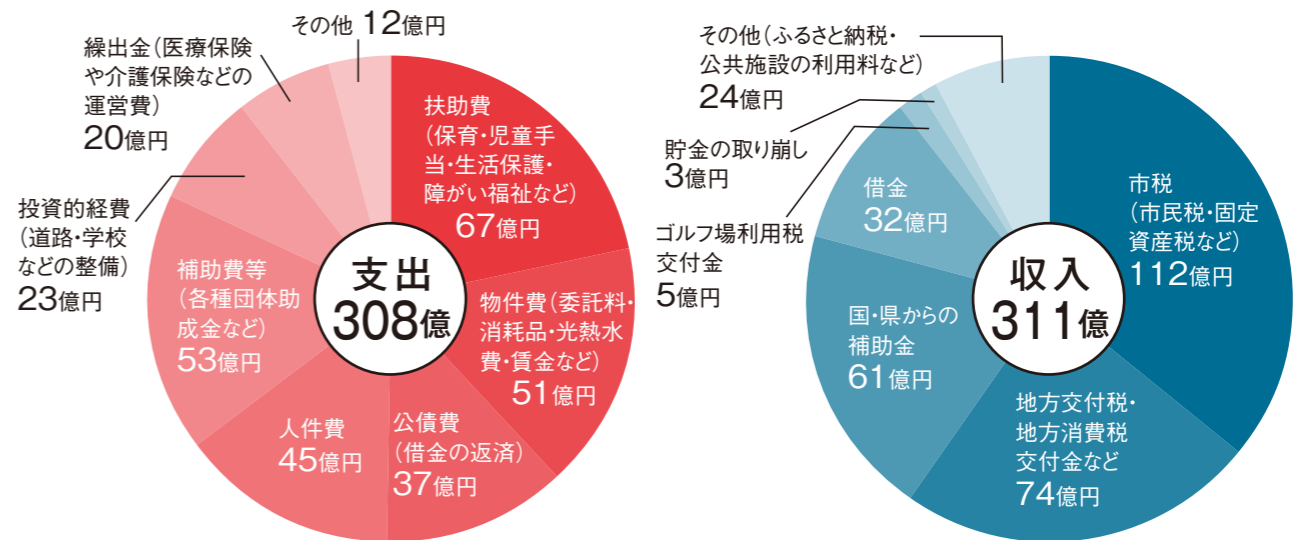
平成30年度の決算見込がまとまりました。決算は1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の結果をまとめたものです。市の借金・貯金の残高や財政状況とあわせてお知らせします。

	収入額	支出額	差引	
一般会計	310億9,892万円	308億2,481万円	2億7,411万円	
特別会計	国民健康保険	96億5,866万円	96億7,725万円	△1,859万円
	介護保険	70億1,345万円	67億2,301万円	2億9,044万円
	農業共済事業	7,554万円	7,551万円	3万円
	後期高齢者医療事業	12億8,010万円	12億5,186万円	2,824万円
	学校給食事業	2億7,487万円	2億7,225万円	262万円

企業会計(水道・下水道)については、広報みき11月号でお知らせします。

■市の決算状況
一般会計の収入と支出の差引額は2億7,411万円、令和元年度予算へ繰り越す額を差し引いた実質的な収支は5,097万円の黒字となりました。また、特別会計の決算は次のとおりです。

◆決算の内訳



平成30年度 決算の特徴

- ・総合体育館など大型事業の完了により収入・支出ともに前年度から約24億円減少
- ・7月豪雨や台風の影響で災害復旧費が2.2億円増加(年度内に完了せず次年度に執行する額10.3億円を除く)
- ・一般会計から国民健康保険特別会計への繰出額が1.1億円増加